



・発行日
52・11・22
・発行
岡崎市AVL
・編集
広報委員会

第二八回放送教育全国大会に参加して

去る十月二十日二十一日の両日、山形市、上市を中心にして「放送教育全国大会」が開催された。岡崎市からは「NHK会長賞」を受賞した竜海中学校の滝口校長先生はじめ九名が参加した。二十三の分科会が設定されたが、それぞれの会場では「放送を生かし、生徒の学習意欲を高め、豊かで確かな学習」をめざした授業実践と研究発表が行なわれた。岡崎市と比較して施設、設備も充分でなく、放送教育への取り組みも、まだ日の浅さを感じさせる面も見られたが、東北地方の人情を感じさせる地味ながら、ひたむきでねばり強い学習の展開と研究発表を聞き、感銘を受けた。全体会で行なわれた論文の選評で、愛知県が、質・量とも優れていることを知り、放送教育への取り組みの充実さを再認識した大会でもあった。

(甲山中 榊原)

随想

放送による学習のあり方を求めて
竜海中学校 野村 鈺吉

放送教育は、生徒の喜びの中にある。生徒の内にある願いが映像によつて触発され、深い心情と共に、自分のものとして表出され、形あるものへと発展させていく。こんな中にあるというのがとりくんでみた実感である。

「先生、こんど放送の時間だね。」こういつて生徒の方から念押しされる。忙しくつて録画が間にあわない時だつてある。こんなとき、何とも申訳ないという気持が胸の中をツーンと走る。生徒は視聴と内容の展開に対して、本能的に好感と意義を感じているのか、こんな要求に支えられてやつているのも事実である。

教育は、厳しくするものだと思う。学習内容にも態度にも犯すべからざる強さで要求し貫く一面が必要である。これを可能にするのは生徒の意欲が指導を肯定している時である。今一つは生徒に自主創造の自由があることである。放送学習は活気と創造の場を作りやすい。厳しさと自主性の統一ある授業ができる。私たちは、こんな研究の機会を与えられたことを深く感謝している。

県大会分科会の報告（その二）

◎中学校社会（地、公分野）（歴史分野）

地。公分野では、視聴後の構造図の作成を手がかりに生徒は自分の力で探究していく学習に喜びを感じているとの報告と、それを生涯教育に生かすべきであると助言があつた。

歴史分野では、同じ内容で話し合われたが、特に個人の変容を継続して追求したいと助言された

◎中学校理科（第一分野）（第二分野）

第一分野では「テレビを理科教育の中にどのようにとり入れるか」を中心に協議が持たれ、学び方を学ぶには効果があると話し合われた。

第二分野でも視聴能力の向上により意欲が高まり、課題追求が理想的になつた。ただ、TVにまかせすぎない教師でありたいと助言された。

◎中学校英語

生徒にとつて生きた英語が、生活の場で使われているテレビの与える影響は大きい。継続視聴していると、視聴希望者が増え、会話及び即答力が伸長してきた。VTWであるからドリル学習にも利用できる。ただ、時間数、言語化の方法には問題も残るが時代とともに進歩する英語の指導でありたいと助言された。

(A・E)

ライブラリーだより

器械運動の個別指導に適した

8ミリコンセプトフィルム購入

一本が五分以内で、スローモーションを駆使してわかり易く見せる8ミリコンセプトフィルムが入りました。エンドレスですから、何度でも見ることができます。グループとか個人指導の場で使用すると効果があがると思えます。中学校用ですが、小学校高学年でも十分使えます。

① マット運動

「前転・後転」「開脚前転」など十四本

② 鉄棒運動

「腕立て後転・振りとび」「足かけ後転・

踏みこしおり」など十二本

③ とび箱運動

「腕立て開脚とび」「腕立て閉脚とび」な

ど七本

そのほか録音教材（国語）として次のテープも購入しました。せいぜいご利用下さい。

「お話でてこい」

四巻（四八話）

「お話たまたまこい」

一卷（二〇話）